
NEWSLETTER

比較経済体制学会

No.42 June 2012

Contents

- 2012 年度比較経済体制学会第 52 回全国大会を終えて
 - 2012 年度比較経済体制学会第 11 回秋期大会のお知らせ
 - 編集委員会からのお知らせ
 - 比較経済体制学会第 52 回会員総会議事録
 - 新入会員のご紹介
 - 幹事会だより
 - 2011 年度決算報告および 2012 年度学会予算
 - 学会ニュース1: 武田友加会員が第 28 回大平正芳賞を受賞
 - 学会ニュース2: 北米比較経済学会との共催コンファレンス成功裏に終わる
 - 事務局だより
-

2012 年度比較経済体制学会第 52 回全国大会を終えて

第 52 回比較経済体制学会全国大会は 6 月 2 日・3 日の両日、のべ 159 名の参加を得て、帝京大学八王子キャンパスで開催されました。

今次大会は、まもなく本会が設立 50 周年を迎えることに鑑み、開会式において日本経済学会連合、欧州比較経済学会(EACES)、および比較経済学会(ACES)をはじめとする諸機関・組織からの祝辞・メッセージが紹介されました。大会初日は、共通論題「社会主義および移行の経験：未来への教訓」に基づく議論が行われました。共通論題のゲストスピーカーとして招聘していたマイケル・エルマン教授（アムステルダム大学）が、訪日直前に自宅での怪我により訪日を断念されたことが痛恨事ではありましたが、同じくゲストスピーカーのピーター・ハヴリク博士（ウィーン国際経済研究所）と中兼和津次会員によるキーノートスピーチ、およびプログラム委員長でもある上垣彰会員によるエルマン論文の解説、並びに栖原学会員も加わってのパネルディスカッションによって、会場からの活発な質疑も加わり、まことに充実した議論となりました。

第 2 日目は自由論題の討論に当てられ、午前中はパネル「ラウンドテーブル：原発の比較経済論：エネルギー政策移行問題」が設けられ、ゲストスピーカーの清水修二教授（福島大学）の報告と除本理史会員による報告、これらに対する徳永昌弘会員と小出秀雄会員の討論がなされました。

午後は分科会形式で、自由論題「地域大国（ロシア・中国・インド）の持続的経済発展の可能性」として、星野真氏（北海道大学）の報告、堀井伸浩会員の報告、並びに金野雄五会員の報告が行われ、これらに対して加藤弘之会員と酒井正三郎会員による討論が行われました。これと同時におこなわれた「旧体制の動態と戦略」分科会では、志田仁完会員の報告、浅川あや子会員の報告、並びに中村靖会員の報告が行われ、これらに対して野部公一会員と日臺健雄会員による討論がなされました。

午後の 2 つ目の分科会では、パネル「ロシア・中国の財政金融問題」およびパネル「ロシア産業論」が設けられました。前者では、大野

茂樹会員，任雲会員，並びにアンドレイ・ベロフ会員がそれぞれ報告を行い，これらに対して王京濱会員，横川和穂会員による討論がなされました。後者では，田畑理一会員と藤原克美会員がそれぞれ報告を行って，これに対して今井雅和会員が討論を行いました。

以上，2 日間にわたって，共通論題，自由論題のいずれについても非常に活発な議論が行われました。ご来場いただいた会員の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

(西村可明大会組織委員長)

帝京大学の立派な施設で，素晴らしいもてなしをしていただきました。帝京大学理事長・学長 沖永佳史先生にも，開会に際してご挨拶いただきました。記して深謝申し上げます。大会組織委員・大会プログラム委員の会員方に心から御礼申し上げます。多くの方々に支えられた大会であったと思います。西村大会組織委員長の下，西村可明ゼミ出身者の正会員が一丸となって組織下さいました。大会組織委員の方々のご尽力に深く御礼申し上げます。

(事務局)

2012 年度比較経済体制学会 第 11 回秋期大会のお知らせ

－自由論題報告者の募集－

下記のとおり，比較経済体制学会第 11 回秋期大会を開催いたします。つきましては，自由論題報告の報告者を募集致します。若手，中堅，ベテランを問わず奮ってご応募ください。報告希望者は，2012 年 7 月末日までに，プログラム委員長・雲和広会員へ，Eメール (kumo<at>mark>ier.hit-u.ac.jp) でお申し込みください。

(1) 募集報告テーマ

- 各国経済・地域の現状，制度，経済政策，比較など
- 比較経済分析，国際比較の理論，方法論など
- 経済体制理論，資本主義多様性論，経済発展論など
- 経済統合，国際経済，国際金融など
- 政治と経済，国家と経済，社会と経済など
- その他

(2) 報告時間 30～35分程度

(3) 論文提出 フル・ペーパーあるいは報告要旨(A4・5枚程度)を，大会30日前までに御提出頂きます。

(4) その他 パネル提案も歓迎いたします。パネル・タイトル，座長，パネリスト，討論者を記したプログラム案をパネル代表者よりご提出ください。

皆さまのお申し込み，お待ち申し上げます。

大会プログラム委員会

委員長：雲和広； 委員：久保庭眞彰・白石麻保・林裕明・藤原克美

大会組織委員会

委員長：藤原克美； 委員：水田明男会員・徳永昌弘会員・安木新一郎会員

日時：平成 24 年 10 月 20 日 (土) 10:00～17:30 (開場 9:30) 予定

場所：大阪大学 豊中キャンパス
〒560-0043 豊中市待兼山町 1-8

ご参考に，次ページに地図を添付いたします。



阪急電車宝塚線

石橋駅（特急・急行停車）下車
東へ徒歩 約 10 分

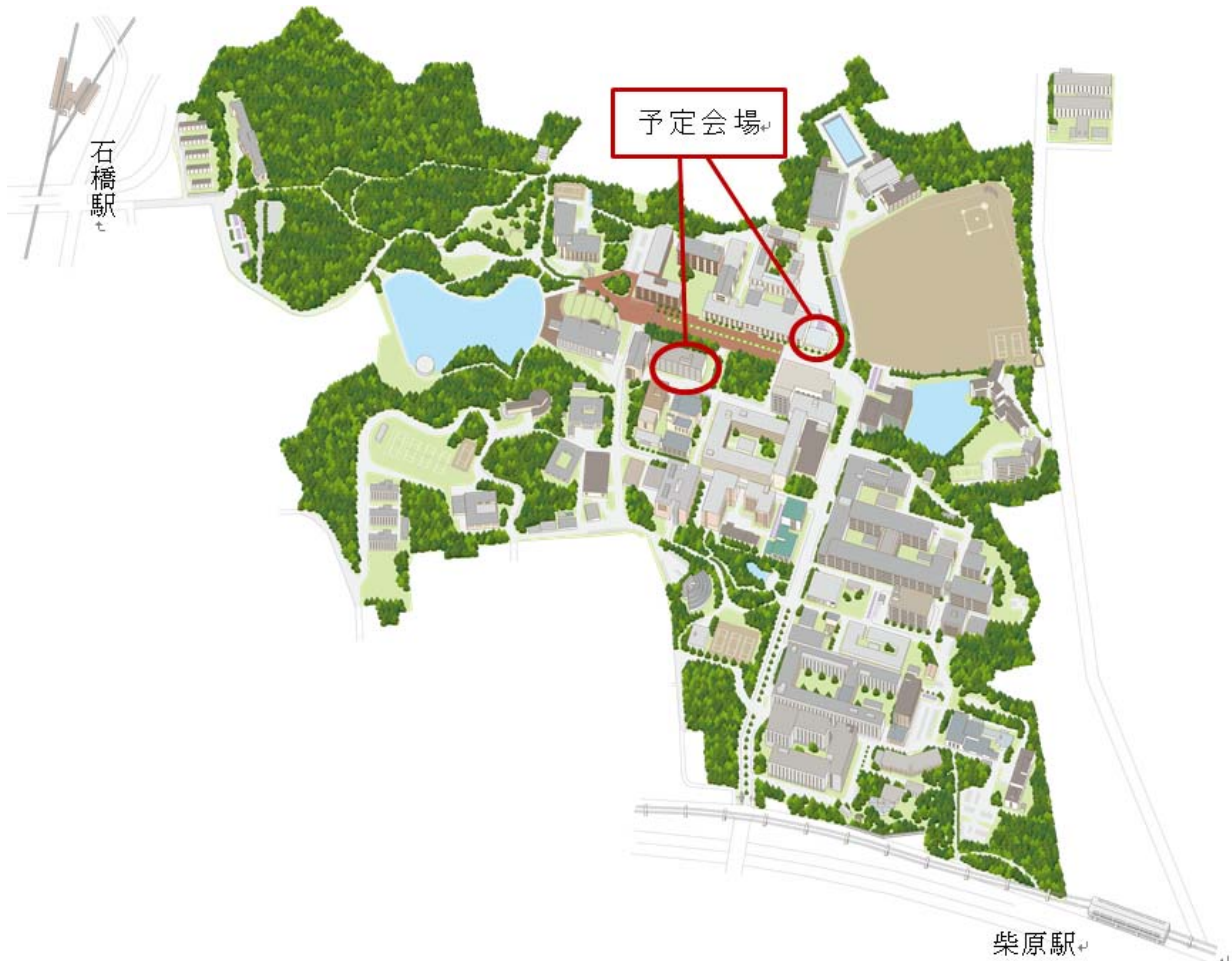
大阪モノレール

柴原駅下車 徒歩約 10 分

○新大阪駅よりお越しの方は、北大阪急行（地下鉄御堂筋線）千里中央駅下車，モノレールに乗りえて乗車時間は約 30 分です。

○大阪駅よりお越しの方は，阪急電車利用または北大阪急行—モノレール利用で乗車時間は 20-35 分です。

○伊丹空港よりお越しの方は，モノレールで 2 駅です。



編集委員会からのお知らせ

学会機関誌『比較経済研究』（英語名称：Japanese Journal of Comparative Economics）は、レフェリー制投稿誌として、年2回発行しています。学会幹事会の委嘱により、第50巻及び第51巻は、加藤志津子編集委員長（明治大学）、岩崎一郎副編集委員長（一橋大学）、石川健編集委員（島根大学）、井上武編集委員（アジア経済研究所）、木崎翠編集委員（横浜国立大学）、藤原克美編集委員（大阪大学）の6名が、その編集を担当します。どうぞよろしくお願いたします。

旧編集委員会が担当した49巻2号は、近々刊行の予定です。その内容は、次の通りです。
小特集 非先進経済のタイポロジーⅡ

高橋基樹「多重乖離型経済<体制>としてのケニア：寡頭支配と「部族」主義のポリティカル・エコノミー」

細井長「サウジアラビア「レンティア国家型資本主義」についての一考察」

論文

日臺健雄「1930年代後期ソヴェト農村におけるアルテリ模範定款の浸透過程：ウラルにおける国家証書の交付と土地整理」

書評

久保庭眞彰著『ロシア経済の成長と構造』（田畑理一評）

トラン・ヴァン・トゥ著『ベトナム経済発展論：中所得国の罫と新たなドイモイ』（中兼和津次評）

武田友加著『現代ロシアの貧困研究』（石川健評）

中兼和津次編著『歴史的視野からみた現代中国経済』（白石麻保評）

仙石学・林忠行編著『ポスト社会主義の政治と経済：旧ソ連・中東欧の比較』（湯浅剛評）

投稿論文も鋭意募集中です。

1. 募集原稿は、論文（400字×55枚以内）、研究ノート（400字×45枚以内）、書評（400字×17枚以内）の3種です。図表も字数制限の対象となります。

2. 第50巻第1号（2013年1月刊行予定）への投稿は、2012年8月31日に締め切ります。第50巻第2号（2013年6月刊行予定）の投稿〆切は、2012年12月末の予定です。

3. 原稿は、各号担当編集委員に、電子メール添付ファイルでお送りください。第50巻第1号は、木崎編集委員(kizaki<at mark>ynu.ac.jp)が、第50巻第2号は、石川編集委員(isikawat<at mark>soc.shimane-u.ac.jp)が、それぞれ担当します。

4. 原稿執筆の際には、本ニューズレターに掲載されております「学会機関誌投稿・執筆要綱」をよく読み、厳密に準拠してください。上記字数制限の外にも、様々な注意点があります。形式がずさんな原稿は、受け取りを拒否します。これは、経費節約のため、編集委員作業負担軽減のため、とても大事なことです。ご理解とご協力をお願いします。

5. 採否は、編集委員会による第一次審査、匿名審査員による第二次審査を経て、決定します。通常、最終決定までに3~4カ月を要します。

6. 当学会に連続2年度以上在籍している若手研究者（院生会員及び年齢40歳以下の正会員）が単独執筆した機関紙掲載論文は、原則として、その全てが自動的に「研究奨励賞」の候補対象となります（詳しくは、本ニューズレターにあります研究奨励賞規定をご覧ください）。応募資格を持つ会員の皆様は、とくに奮ってご投稿ください。

ご不明の点は、加藤編集委員長(katos<at mark>kisc.meiji.ac.jp)または各号担当編集委員まで、お問い合わせください。

（学会機関誌編集委員会）

第 52 回会員総会

会員総会議長に大津定美会員が選出され、総会が開催されました。総会は、配布資料とプロジェクター資料にもとづいて進められました。以下、報告事項と審議事項に分けて記載します。

総会に先立ち、第五回比較経済体制学会研究奨励賞授与式を行いました。久保庭眞彰代表幹事より横川和穂会員に賞状と副賞の図書カード 5 万円分が授与されました。

報告事項

退会者の報告が事務局より行われました。続いて、事務局が会務報告を行いました。また学会 Web サイトの移転についてアナウンスしました。日本経済連合会より会報が届けられている旨が報告され、研究資料交換デスクにおいて希望者に配布されました。次に、学会機関誌編集について、最新号が近々に刊行される旨既に刊行・送付されていることについて事務局より説明し、前編集委員会の業務が今号で終了した

事が報告されるとともにその労をねぎらう発言があり、さらに前日の幹事会にて新編集委員会が編成されたことが報告されました。次に、大会準備状況について、事務局より 2012 年秋期大会（大阪大学）の準備が順調に進んでいる旨が報告されました。2013 年全国大会の組織委員長は道上真有会員に委嘱し、新潟大学で開催することが報告されました。また、北米比較経済学会との間で協力に関わる覚書の署名が行われた旨が報告されました。

審議事項

新入会員について、入会希望者全員が総会として承認されました。2011 年度決算が全会一致で承認されました。続いて 2012 年予算が全会一致で承認されました。

(事務局)

新入会員のご紹介

2012 年度新入会員の皆様をご紹介します。新入会員の皆さんの加入により、2012 年度会員総数は 265 名となりました。

五十嵐 徳子	天理大学国際学部
文 浩一	一橋大学経済研究所
除本 理史	大阪市立大学大学院経営学研究科
長友 謙治	農林水産省農林水産政策研究所
梶谷 懐	神戸大学大学院経済学研究科
澁谷 憲洋	中央大学大学院商学研究科 (院生)

(敬称略)

(事務局)

幹事会だより

大会前日の平成 24 年 6 月 1 日、帝京大学にて第三回幹事会が開催されました。前回幹事会議

事録を確認したのち、報告事項に入りました。事務局から会務報告・退会者の確認が行われました。

学会サーバの移転につき確認をしました。第 49 巻第 2 号の編集状況について岩崎編集委員長より報告されました。機関リポジトリに対する対応については継続審議となりました。北米比較経済学会との協力に関わる覚書に調印した旨が報告されました。秋期大会について、藤原克美大会組織委員長から報告されました。

続いて審議事項に入りました。新入会員について杉浦メンバーシップ担当幹事より説明があり、承

認されました。2011 年度の決算について並びに 2012 年度の予算について事務局より説明があり、承認されました。岩崎一郎編集委員長より新編集委員の構成につき提案があり、了承されました。2013 年度全国大会について、新潟大学にて開催することとなり、道上真有会員に大会組織委員長を委嘱することが提起され、了承されました。

2011 年度決算報告および 2012 年度学会予算

*2011 年度決算書は以下のとおりです。

2011年度比較経済体制学会決算書 (2011年4月1日-2012年3月31日)

	2011年度予算	(内訳)	2011年度決算	(内訳)	差額
収入の部					
前年度繰越金	1,066,383		1,066,383		0
会費	1,395,671		1,396,860		1,189
雑収入	0	0	146	0	146
合計	2,462,054		2,463,389		1,335
支出の部					
次年度全国大会開催費補助 ⁽¹⁾	600,000		595,764		-4,236
秋期大会開催費補助	150,000		124,174		-25,826
大会組織委員会・プログラム委員会経費	80,000		114,160		34,160
委員旅費		0		0	
大会招待講演者旅費		80,000		114,160	
その他		0		0	
機関誌印刷費	570,000		567,000		-3,000
機関誌編集委員会経費	230,000		203,150		-26,850
査読謝礼		5,000		0	
英文校閲料		15,000		3,150	
人件費		200,000		200,000	
その他		10,000		0	
奨励賞 ⁽²⁾	50,000		0		-50,000
会員名簿印刷費	90,000		99,130		9,130
幹事会経費	15,000		14,700		-300
事務局経費	295,000		224,371		-70,629
印刷費		30,000		0	
機関誌発送費		80,000		73,583	
ニューズレター発送費 ⁽³⁾		25,000		32,860	
その他送料 ⁽⁴⁾		40,000		51,610	
文房具		10,000		8,463	
送金手数料		10,000		7,455	
人件費		50,000		50,400	
Webサイト維持費 ⁽⁵⁾		50,000		0	
その他		0		0	
事務委託費(学協会サポートセンター)	290,000		281,282		-8,718
年度事務委託料		220,000		211,050	
年度事務委託料に含まれない料金・手数料		70,000		70,232	
経済学会連合分担金	30,000		30,000		0
JCREES分担金	30,000		30,000		0
予備費	30,000		0		30,000
小計	2,460,000		2,283,731		176,269
次年度繰越金	2054		179,658		-177,604
合計	2,462,054		2,463,389		-1,335

- (1) 東北大+帝京大
- (2) 受賞者なし
- (3) 4月刊行NLのみ送付
- (4) 名簿送料36,680円含
- (5) 担当幹事自身により維持

作成日 2012年5月2日
作成者 豊 和広



上記の決算書に相違ないことを認めます。

2012年 5月 7日

会計監査

氏名 堀江 典生



2012年 5月 14日

会計監査

氏名 永野 久美子



*2012年度学会予算は以下のとおりです。

2011年度比較経済体制学会予算書(2012年4月1日-2013年3月31日)

	2011年度予算	(内訳)	2011年度決算	(内訳)	2012年度予算	(内訳)
収入の部						
前年度繰越金	1,066,383		1,066,383		179,658	
会費 ⁽¹⁾	1,395,671		1,396,860		1,969,200	
雑収入	0	0	146		0	0
合計	2,462,054		2,463,389		2,148,858	
支出の部						
次年度全国大会開催費補助 ⁽²⁾	600,000		595,764		300,000	
秋期大会開催費補助	150,000		124,174		150,000	
大会組織委員会・プログラム委員会経費	80,000		114,160		80,000	
委員旅費		0		0		0
大会招待講演者旅費		80,000		114,160		80,000
その他		0		0		0
機関誌印刷費	570,000		567,000		570,000	
機関誌編集委員会経費	230,000		203,150		230,000	
査読謝礼		5,000		0		5,000
英文校閲料		15,000		3,150		15,000
人件費 ⁽³⁾		200,000		200,000		200,000
その他		10,000		0		10,000
奨励賞 ⁽⁴⁾	50,000		0		50,000	
会員名簿印刷費	90,000		99,130		0	
幹事会経費	15,000		14,700		15,000	
事務局経費	295,000		224,371		270,000	
印刷費		30,000		0		30,000
機関誌発送費		80,000		73,583		80,000
ニューズレター発送費 ⁽⁵⁾		25,000		32,860		0
その他送料		40,000		51,610		40,000
文房具		10,000		8,463		10,000
送金手数料		10,000		7,455		10,000
人件費		50,000		50,400		50,000
Webサイト維持費 ⁽⁶⁾		50,000		0		50,000
その他		0		0		0
事務委託費(学協会サポートセンター)	290,000		281,282		290,000	
年度事務委託料		220,000		211,050		220,000
年度事務委託料に含まれない料金・手数料		70,000		70,232		70,000
経済学会連合分担金	30,000		30,000		30,000	
JCREES分担金	30,000		30,000		30,000	
予備費 ⁽⁷⁾	30,000		0		50,000	
小計	2,460,000		2,283,731		2,065,000	
次年度繰越金	2054		179,658		83858	
合計	2,462,054		2,463,389		2,148,858	

(1) (10,000円×194人+4,000円×62人)×0.9(2012年5月29日迄に確認出来た会員数)

(2) 2011年度は東北大+帝京大. 2012年度は新潟大のみ.

(3) 5万円×2号×2名

(4) 2011年度は受賞者なし、2012年度受賞者1(2012年6月副賞授与)

(5) 2011年度は一回分のみ計上(実際に送付)、2012年度以降はメール送信のため不要.

(6) 2011年度は担当幹事自身が管理を行ったため支出ゼロ.

(7) 緊急対応用

学会ニュース 1 :
武田友加会員が第 28 回大平正芳賞を受賞

一橋大学経済研究所の武田友加会員が、第 28 回大平正芳記念賞を受賞しました。

以下引用:

この賞は「環太平洋連帯構想」の発展に貢献する政治・経済・文化・科学技術に関する著作に対して、財団法人大平正芳記念財団より与えられるものです。

武田講師は、『現代ロシアの貧困研究』(東京大学出版会, 2011 年 2 月刊)で、同賞を受賞しま

した。授賞式は、2012 年 6 月 12 日に執り行われました。

(以上一橋大学 Web サイトより: <http://www.hit-u.ac.jp/function/outside/news/2012/0618.html>)

武田会員の学術賞受賞は、2007 年第一回比較経済体制学会研究奨励賞の受賞に続く快挙です。武田会員の榮譽を称え、共に喜びたいと思います。

事務局

学会ニュース 2 :
北米比較経済学会との共催コンファレンス成功裏に終わる

先にアナウンスしておりました通り、5 月 16 日-19 日の日程で、米国ハワイ州・ホノルルにて CONFERENCE ON ECONOMIC AND FINANCIAL SYSTEM DEVELOPMENT IN THE PACIFIC-RIM REGION が開催されました。日常から離れた環境でのコンファレンスで、大変盛況に終わることが出来ました。

また総会にて報告致しました通り、当該コンファレンスの冒頭、Association for Comparative Economic Studies (ACES) の Executive Secretary

である Josef Brada 氏と久保庭眞彰代表幹事との間で協力に関わる覚書の署名が行われました。

ご参考に、以下に CONFERENCE ON ECONOMIC AND FINANCIAL SYSTEM DEVELOPMENT IN THE PACIFIC-RIM REGION のプログラムを添付致します。

事務局



久保庭眞彰代表幹事と Josef Brada ACES Executive Secretary との覚書調印の様子
(2012 年 5 月 16 日, 米国ハワイ州ホノルルにて)

**MEMORANDUM OF COOPERATION BETWEEN
THE JAPAN ASSOCIATION FOR COMPARATIVE ECONOMIC STUDIES
AND THE ASSOCIATION FOR COMPARATIVE ECONOMIC STUDIES**

DESIRING to further promote the close and friendly relations existing between the Japan Association for Comparative Economic Studies (hereinafter "JACES") and the Association for Comparative Economic Studies (hereinafter referred to as "ACES"), the presidents of the two associations intend to undertake cooperative activities under this Memorandum based on the following principles:

- to encourage ACES members and other scholars in comparative economics and other related research areas to participate in conferences and workshops organized by JACES as guest speakers and panelists;
- to encourage JACES members and other Japanese scholars specialized in comparative economics and other related research areas to participate in ACES activities including congresses and workshops;
- to exchange information regarding activities of the two associations;
- to consult closely on the implementation of other programs beneficial for mutual cooperation between the two associations.


Signed in Honolulu, the United States, the 16th day of May 2012.

President
Japan Association for
Comparative Economic Studies



Masaaki Kuboniwa

Executive Secretary
Association for
Comparative Economic Studies



Josef C. Brada

Pacific-Rim Conference Program

May 16

5:00-6:00 pm: Conference Registration - Garden Lanai Room

6:00-7:30 pm: Cocktail reception for conference attendees - Garden Lanai Room

May 17

8:00-9:00 am Registration - Carnation Room

9:00-11:00 am Plenary Session Carnation Room

Keynote Address: Shinichiro Tabata, Hokkaido University, “Comparison of Russia, China and India in Terms of International Reserve Accumulation”

Keynote Address: Josef C. Brada, Arizona State University, “Is the Distribution of Income between Labor and Capital Constant? And Should We Care?”

12:30-2:45 pm Session 1 Carnation Room

Developments in Pacific-Rim Financial Markets

Chair: Ali M. Kutun, Southern Illinois University, Edwardsville

William Cheng, Troy University, “The Emerging Vietnamese Stock Markets and International Diversification”

Xunan Feng, Shanghai University, Anders Johansson, Stockholm School of Economics and Tianyu Zhang, The Chinese University of Hong Kong, “Political Participation and Entrepreneurial Initial Public Offerings in China”

Naresh Parayan, Seema Narayan and Susan Sharma, Deakin University, “An Analysis of Commodity Markets: What Gain for Investors?”

Jung-Chu Lin, Takming University of Science and Technology and Hsin-Mei Su, TamKang University, “A Quantile Regression Analysis of the Asymmetric Volume-Return Relationship on Taiwan ETFs Market”

12:30-2:45 pm Session 2 Plumeria Room

Managers, Employers and Households

Chair: Masaaki Kuboniwa, Hitotsubashi University

Sandip Anand, Xavier Institute of Management, Bhubaneswar, “Emerging Economic Patterns and the Global Linkages: A Study of Indian Migrants Settled in the United States of America”

Byung-Yeon Kim, Seoul National University, Syngjoo Choi, University College London, Jungmin Lee, Sogang University, Sokbae Lee, Seoul National University and Kyunghui Choi, University of Tokyo, “Understanding the Effect of Communism on Social Preferences: Experimental Evidence with North Korean Refugees”

Ichiro Iwasaki, Hitotsubashi University, “Executive Board: The Russian Experience”

Satoshi Inomata, Institute of Developing Economies, JETRO, “Evolutionary Perspective of International Production Networks in the Asia-Pacific Region”

(Coffee break - Carnation Room)

3:00-5:00 pm Session 3 Carnation Room

Emerging Market Economies’ Exchange and Interest Rates

Chair: Iikka Korhonen, Bank of Finland

Jan Kubíček, Czech National Bank, “Let Them Float but Not Jump”

Daryna Grechyna, University of Auckland and Viktor Grechyn, National University ‘Kyiv-Mohyla Academy’, “Russian Ruble as International Currency: Ambitions and Reality”

Jair Ojeda-Joya and J. E. Gómez-González, Central Bank of Colombia, “The Term Structure of Sovereign Default Risk in Colombia and Its Determinants”

3:00-5:00 pm Session 4 Plumeria Room

China’s Economy

Chair: El-hadj Bah, University of Auckland

Ming-Hua Liu, Auckland University of Technology, Dimitris Margaritis, University of Auckland, and Yang Zhang, University of Macau, “Coal Price and State-Administered Electricity Prices in China”

Yifan Zhang, Lingnan University and Heiwai Tang, Tufts University, “Globalization and Firm Demand for Skilled Labor in China's Manufacturing Sector”

Eric Lin, United States University, “The Rise of China”

May 18

9:00-11:15 am Session 5 Carnation Room

Sustainable Growth in the Pacific Rim Region

Chair: Shinichiro Tabata, Hokkaido University

Masaaki Kuboniwa, Hitotsubashi University, “A Comparative Analysis of the Impact of Oil Prices on Oil-Rich Emerging Economies in the Pacific Rim”

Iikka Korhonen, Bank of Finland and Maria Ritola, Demos Finland, “Forecasting Economic Developments in Major Emerging Markets – Rational?”

Akira Uegaki, Seinan Gakuin University, “Development in Global Economy: Middle Term Analysis of China, India, and Russia”

Yugo Konno, Mizuho Research Institute Ltd, “Comparison of Trade Liberalizations in Russia, China and India”

1:00-3:00 pm Session 6 Carnation Room

Globalization and Efficiency in Pacific-Rim Financial Markets

Chair: Xiaoqing Fu, University of Macau

Pui Sun Tam, University of Macau, “A Spatial-Temporal Analysis of East Asian Equity Market Linkages”

Slawomir I. Bukowski, K. Pulaski Technical University of Radom, “Degree of the Chinese Equity Market's Integration with the Japanese and U.S. Equity Markets”

Abdul Hayat Muhammad and Paresh Narayan, Deakin University, “Modeling and Forecasting Accuracy of Seemingly Similar Major Indian Banking Stocks”

Ali Kutan and Ling Wan, Southern Illinois University, Edwardsville, “Natural Disasters and Stock Markets: Evidence from Japan and the USA”

1:00-3:00 pm Session 7 Plumeria Room

International Business Issues for Emerging Markets

Chair: Yifan Zhang, Lingnan University

Farazi Binti Ferdous, Waseda University, “Prospects of Export Diversification in Regional Markets for East Asian Economies”

Jan Babecký, Kamil Galuščák and Lubomir Lízal, Czech National Bank, “Firm-Level Labor Demand: Adjustment in Good Times and During the Crisis”

Mariusz-Jan Radlo, Warsaw School of Economics, “Service Offshoring: Motives Processes and Location Factors”

(Coffee break - Carnation Room)

3:15-5:15 pm Session 8 Carnation Room

Banking and Credit in Pacific-Rim Countries

Chair: Sangin Park, Seoul National University

Sichong Chen, Zhongnan University of Economics and Law, “How Do Leverage Ratios Affect Bank Share Performance during Financial Crises: The Japanese Experience of the Late 1990s”

Shelagh Heffernan, Cass Business School and Xiaoqing (Maggie) Fu, University of Macau, “Bank Productivity Changes in Two Asian Giants”

Victor Gorshkov, Kyoto University, “Foreign Banks' Entry and the Development of the Russian Banking Sector”

Go Yano, Kyoto University and Maho Shiraishi, University of Kitakyushu, “What Develops Trade Credit? The Case of Provinces in China”

3:15-5:15 pm Session 9 Plumeria Room

Developments in the Global Economy

Chair: Wojciech Bieńkowski, Lazarski University

El-hadj Bah and Jeremy Ward, University of Auckland, “Effectiveness of Foreign Aid in Small Island Developing States”

Richard Frensch, University of Regensburg, Evžen Kočenda, CERGE-EI and Jan Hanousek, CERGE-EI, “Incomplete Specialization and Offshoring across Europe”

Josef Brada, Arizona State University, Ali Kutun, Southern Illinois University-Edwardsville and Goran Vukšić, Institute of Public Finance, “Capital Flight in the Presence of Domestic Borrowing”

Hae Kim, Troy University, “Regionalism, Globalization and Economic Development in the World”

Conference Dinner: Cocktails, 7:00, Dinner 8:00-10:00 pm Room to be announced.

May 19

8:30-10:45 am Session 10 Carnation Room

Human Resources and Education

Chair: Josef Brada, Arizona State University

Wojciech Bieńkowski and Adam Figurski, Lazarski University, “Recent Trends in the Commercialization of Tertiary Education in Europe”

Wojciech Bieńkowski, Lazarski University, “EU University Ranking Proposal - Critical Review”

Dorota Ciesielska-Maciagowska and Mariusz-Jan Radlo, Warsaw School of Economics, “Intellectual Capital and Its Influence on Education and Knowledge Process Offshoring”

Kazuhiro Kumo, Hitotsubashi University, “Mortality Trends in Russia Revisited: A Systematic Survey”

8:30-10:45 am Session 11 Plumeria Room

Pacific Rim International Business Environments

Chair: Sichong Chen, Zhongnan University of Economics and Law

Nobuaki Yamashita, La Trobe University, “Can India become a Home for Global Operations of Multinational Firms? Comparative Perspectives from China”

Sauwaluck Koojaroenprasit, Kasetsart University, “The Impact of Foreign Direct Investment on Economic Growth: A Case Study of South Korea”

Masahiro Tokunaga, Kansai University, “Emerging European Markets: Japan's Viewpoint”

Xinhua Gu and Bihong Huang, University of Macau, “Different Inequality-Saving Links between OECD and Emerging Asia: Theory and New Evidence”

事務局だより

ニューズレターNO.42 をお届けします。久保 功に向けて、多くの方々の自由論題応募と秋期
庭眞彰代表幹事のもとでの事務局運営も折り返し
し地点に至りました。この間、幹事の方々、多
くの会員のみなさまのご助力のおかげでなんと
か一年を乗り切りました。

2012 年度の総会は、議題が限定され非常にす
みやかに終わることが出来ました。懸案であつ
た問題は前幹事会において解消されており、し
ばらくはこの形での運営が可能なものであろう
と見込んでおります。

秋期大会のお知らせと自由論題応募を、この
ニューズレターに掲載しています。秋期大会成

功に向けて、多くの方々の自由論題応募と秋期
大会ご参加をお願い申し上げます。

また、今年度より新しい編集委員体制で学会
機関誌の編集が始まりました。学会機関誌の発
展もまた、みなさまの積極的な投稿が礎とな
ります。

2012 年度も事務局一同、力を合わせ会務をつ
とめます。皆様のご理解とご助力とを何卒お願
い申し上げます。

(事務局)

ニューズレターNO.42

2012 年 06 月 30 日発行

比較経済体制学会事務局

〒186-864 東京都国立市中 2-1 一橋大学経済研究所 雲和広

Tel. & Fax 042-580-8361; E-mail: [kumo \(at mark\) ier.hit-u.ac.jp](mailto:kumo(at)mark.ier.hit-u.ac.jp)

<http://www.jaces.info/>

メンバーシップ管理担当幹事・Web 担当幹事 帝京大学 杉浦史和

E-mail : [fsugiura \(at mark\) main.teikyo-u.ac.jp](mailto:fsugiura(at)mark.main.teikyo-u.ac.jp)